

## 第 88 回 学長選考・監察会議議事概要

- 1 日 時 令和 5 年 3 月 16 日（木）16 時 35 分～18 時 24 分
- 2 場 所 Zoom 会議
- 3 出席者 三輪委員，伊藤委員，小田委員，森委員，  
柴田委員，松尾委員，染矢委員，富田委員 以上 8 名  
\*欠席者：佐久間委員，小野寺委員  
\*オブザーバー：田代監事，逸見監事  
\*伊藤委員，小田委員，森委員は，議事の「(1) 学長在任 3 年間の業績評価について」のみ出席

### 4 議事概要の確認

第 87 回学長選考・監察会議議事概要が確認され，承認された。

### 5 議事

#### (1) 学長在任 3 年間の業績評価について

学長在任 3 年間の業績評価について，学長との面談を行った。

(主な意見及び質疑等)

- ・大学院改革に関してどう考えているか。
- ・新潟大学の大学院とは何だろうかということを見ると、新潟大学でしか学べないもの、特色や魅力あるプログラムではないかと考えている。
- ・選ばれる大学になるには思い切った戦略が必要になると思うが、どう考えているか。
- ・メジャー・マイナー制等をブランディングとして伝えること、小中高の生徒に対して大学の教える仕組みを正しく見せること、魅力ある大学院をつくり研究で勝負できる大学であること、その結果として中身のある社会との共創を行うことと考えている。
- ・教員数が減ってきた中で、新潟大学をより活力あるものにしていくために何が大事と考えているか。
- ・基礎研究がなくなったら大学ではない。しかし、現状では、できるだけ今の力を残したまま、1人の研究ではなく、集まって1を3にするような研究グループをいかにつくれるかということかと思っている。

- ・コロナへの対応、明確なビジョンがない中での将来ビジョンの策定は高く評価する。一方で、大学院改革、人件費等の配分や投入の見直しが必要である。また、この先には、学内のアウトカム、社会に対するアウトカムが重要である。
- ・大学の統廃合についてはどう考えているか。
- ・今は、連携機構をつくるというよりも、オンラインの活用も含めて連携、リソースの共有をしていくことが求められていると考えている。
- ・ウェブベースでの教育についてどう考えているか。
- ・新潟大学では、オンラインだけでなく、新潟県、佐渡、燕三条等のフィールドを活用したリアルとオンラインの教育を行っていくべきであると考えている。

続いて、議長から、総括審議については継続審議とし、更に意見がある場合は3月24日（金）までに文書にて事務局に送付することの提案があり、了承された。

（主な意見及び質疑等）

- ・なし

## （2）国立大学法人新潟大学学長選考・監察会議規則等の改正について

本議事に入る前に、事務局から出席委員数が議決要件を満たしていないため、本議事については、後日、あらためて書面審議願いたい旨の発言があった。その後、事務局から資料20-1から資料20-3に基づき、国立大学法人新潟大学学長選考・監察会議規則等の改正について説明があった。

（主な意見及び質疑等）

- ・なし

## （3）令和5年 学長選考スケジュールについて

事務局から資料21-1から資料21-3に基づき、令和5年の学長選考スケジュールについて説明があった。

（主な意見及び質疑等）

- ・なし